

江戸だ、落語だ！ 平洲先生生誕祭 夏だ！踊りだ！！ 落語かい？！花火day！！

芸術総監督
おすすめコメント

小遊三師匠、志ん輔師匠らの江戸落語、噺家、三味線の伝統「住吉踊り」実演は本当に楽しみしかし、この日の主役はなんといっても平洲先生でしょう。前半は生誕290年を迎えた平洲先生縁の歌あり、踊りあり、更には平洲先生の教えを受け継ぐ子どもたちが現在の東海市の文化の息吹をオーケストラ演奏で表します。しかも、夜には花火大会！これだけ賑やかであれば平洲先生もニコニコ笑顔で喜んでくれることでしょう。皆さんも是非この日、平洲先生の生きた江戸時代の風情を楽しみつつ、平洲先生を偲んで頂ければ幸いです。

東海市芸術劇場芸術総監督 安江正也

ほそいへいしゅう
細井平洲先生は…

教育者として江戸時代に活躍した人物です。米沢藩(山形県米沢市)第9代藩主、上杉鷹山(うえずぎようざん)の師としても著名です。

享保13年(1728)、尾張国知多郡平島村(愛知県東海市)に生まれました。幼いときから学問に励み、江戸へ出て、私塾「嘸鳴館(おうめいかん)」を開き、多くの人材を育てました。実学を重んじ、世を治め、民衆の苦しみを救うことを目的とした彼の教えは、全国各地の大名から一般庶民まで幅広い層の心をとらえました。

明和元年(1764)、14歳の上杉治憲(うえずぎはるのり・後の上杉鷹山)の師として迎えられ、後に藩主となった鷹山は、その教えを実行して人づくりを通して農業や産業を振興し、名君とうたわれました。

また、天明3年(1783)平洲は、56歳のときに尾張藩の学校である明倫堂の初代の校長となり、学問を大いに広めました。享和元年(1801)74歳で亡くなりましたが、その教えは幕末の吉田松陰、西郷隆盛らにも大きな影響を与えたといわれています。



細井平洲先生 上杉鷹山公対面の像

(東海市芸術劇場東、太田川駅西広場)

平洲記念館・郷土資料館

平洲先生の業績を書画等の作品を中心に展示。DVD等で学習できる情報コーナーや平洲記念館講座等を開催している講義室もあります。また、郷土資料館には、知多式製塩土器をはじめとする東海市の考古資料や民具等を展示しています。

平洲記念館・郷土資料館

所在地/東海市荒尾町蜂ヶ尻67 TEL.052-604-4141



劇場インフォメーション



室井滋&長谷川義史 しげちゃん一座絵本ライブ

2018年11月11日(日)14:00開演
東海市芸術劇場 大ホール
一般¥2,000 / 子ども¥500

※子ども料金は、3歳以上高校生以下、2歳以下は、保護者のひざの上での鑑賞は無料、度々必要とする場合は有料です。

発売日:[先行]7月28日(土) [一般]8月4日(土)

出演

室井 滋(朗読・うた・ピアノ・イラスト)
長谷川 義史(イラスト・朗読・うた・ウクレレ)
岡 淳(サクソフ・フルート・篠笛)、大友 剛(ピアノ・マジック)